

R8年1月 ばら組ドキュメンテーション 「読み聞かせ」

毎日、朝の自由遊びの片付けが終わると、ばら組の子ども達には読み聞かせを行っている。

ある日、Aちゃんが片付け後に本棚から絵本を1冊選んで持ってきた。そして他の子ども達の前で、普段保育者が行っているように手遊びを行ってから声に出して絵本を読み始めた。



また始めは自分に見える向きで読んでいた Aちゃん。しかし保育者が隣で読み聞かせを始めると、その姿を真似して絵本の向きを変えていた。



☆考察☆

- ・今回「自由遊び後の片付けから手遊びと読み聞かせ」までの流れを理解し、一連の活動を再現する姿が見られた。Aちゃんは日々の経験を通して活動の順序を理解すると共に、保育者の姿をよく観察してその言葉や動作を真似することで“保育者役”になりきっていたと考えられる。
- ・今後も身近な大人の姿を真似して遊ぶ姿を大切にし、ごっこ遊びへと発展できるような環境を整えていきたい。そして生活の見通しや役割への気づき等の社会性を育んでいきたい。